

2011 7/9 (土)

14:00 start
[13:30 開場]

文翔館 議場ホール

[出演]

バリトン
井上 雅人

ピアノ
碓井 俊樹

ヴァイオリン
(友情出演)
ヤンネ 館野

[チケット]

一般 3,000円 (当日 3,500円)
学生 1,500円 (当日 2,000円)
(全席自由)

[お問合せ]

090-5234-1223

Mプロジェクト・木村

[主催]

(NPO) 山形の音楽活動を応援する会・Mプロジェクト

[共催]

(財) 山形県生涯学習文化財団(文翔館文化活動支援事業)

[後援]

公益財団法人東京二期会
フィンランド大使館
山形新聞・山形放送
東京藝術大学 同声会
北音会

井上 雅人

バリトンリサイタル

力強くもあたたかい美声と

品格ある音楽の世界



Masato Inoue Bariton Recital
Program

シューベルト
歌曲集(白鳥の歌)より
「セレナーデ」

シューマン
「蓮の花」

プッチーニ
オペラ(トスカ)より
「テ・デウム」

メリカント
「嵐の鳥」

シベリウス
「三月の雪の上のダイヤモンド」
etc.

上海万博「世紀のコンサート」に〈第九〉バリトンソロとして招かれた
山形から世界へ羽ばたく若き実力歌手

井上雅人 Masato Inoue

1979年 新庄市生まれ

山形北音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部音楽科を卒業。同大学大学院オペラ科修士課程修了。

二期会オペラ研修所第50期マスタークラス修了。修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。「二期会オペラ研修所コンサート」「二期会新進声楽家の夕べ」に出演。声楽を大類雅子、志鎌綾子、平野忠彦の各氏に師事。また大学にて

U.Gardini,S.Roach,G.N.Pigliucci,G.Kriscakの各氏に指導を受けた。卒業後も Robert Honeysucker氏に声楽、Maria Holopainen女史にフィンランド歌曲を師事するなど、海外のアーティストからの指導を受ける。学部2年で〈第九〉ソロを務めるなど、在学中より学外でも活躍。第49回芸大オペラ定期モーツァルト『フィガロの結婚』フィガロ役、第50回モーツァルト『コシ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役(H.M.Schneidt指揮/藝大フィルハーモニア)で出演。大学院在籍中より数年間、東京オペラシンガーズの一員として、サイトウキネン・フェスティバル、東京のオペラの森等の公演に参加、小澤征爾、R.ムーティ、チョン・ミョンフン、ケント・ナガノらの指揮する公演に出演した。

卒業後に東京室内歌劇場公演『コシ・ファン・トゥッテ』(故 若杉弘 指揮/東京フィルハー

モニー交響楽団)のグリエルモ役で本格的にオペラデビュー。同団体40周年記念公演チマローザ『秘密の結婚』ではロビンソン伯爵役で出演(V.Clemente指揮)。

2010年東京オペラプロデュース公演 ジョルダノ〈マダム・サン＝ジュース〉(日本初演/新国立劇場中劇場)ナポレオン役では緊張感絶やさぬ演技、深みのある音色で好評を博し、「音楽の友」では「逞しい美声で人物像の説得力を高めた」と評された。サントリー音楽財団創設40周年記念公演 村上春樹原作/望月京作曲「パン屋大襲撃」ドイツ語上演/日本初演(サントリーホール/大塚いづみホール)にBursche役で出演。東京芸術大学大学院博士課程学位審査 三木稔「春琴抄」に佐助役で賛助出演し、作曲家本人から「徐々に難役である佐助を歌える逸材を発見した」と最大級の賛辞をおくられた。

他に、ドニゼッティ『ランメルモールのルチア』(エンリーコ役)、ヴェルディ『椿姫』(ジェルモン役、男爵役)、『リゴレット』(リゴレット役)、マスカーニ『カヴァレリア・ルスティカーナ』(アルフィオ役)、メノッティ『電話』(ベン役)、『ナクソス島のアリアドネ』(トルツァルディン役)等多くのオペラに出演。2008年サロンオペラ『リゴレット』タイトルロールでは、「音楽現代」で「太目の声音が高音まで雄弁に響き、緊張感を絶やさぬ所作も生きた」と高く評価された。2010年二期会公演「カプリッチョ」(沼尻竜典指揮/J.Lauwers演出)、2011年2月同団体公演「サロメ」(S.Soltész指揮/P.Koneitschny演出)に出演。7月23,24日にブッチーニ「トスカ」スカルピア役(目黒パーシモンホール/企画協力:東京二期会)、2012年7月にヴェルディ「マクベス」マクベス役(サンパウル荒川大ホール/荒川区民オペラ 第14回公演)等に出演予定。オラトリオ、ミサ等ではベートーヴェン〈第九〉、フォーレ〈レクイエム〉、モーツァルト〈戴冠ミサ〉、〈ハ短調ミサ〉、ハイデン〈戦時のミサ〉等のソリストも務める。林望/上田真樹〈鎮魂十二頌〉初演バスソロ。11月には柏市民文化会館にてモーツァルト「証聖者の荘厳な晩禱(k.339)」(黒岩英臣指揮/東京シティ・フィル)のバスソロで出演予定。

2010年上海万博「世紀のコンサート」に〈第九〉バリトンソロとして招かれ、好評を博すなど、海外へも活動の場が広がっている。また2010年より都内のイタリア料理店アルマヴィーヴァにてディナーコンサートのプロデュースも行っている。自身も10月に第十回記念イベントとしてヤンネ館野氏(Vn)とともに出演した。自身の企画によりコンサートを数度開催。『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(抜粋)の演出も手がけた。

力強くも品格のある美声で、特にメリカント等のフィンランド歌曲にその持ち味が活かされ主要なレパートリーとする他、ドイツリートも得意とし、ヴィルヘルム・ケンプの歌曲の日本初演なども行っている。新進の正統派バリトンとして注目を集めている。

山形交響楽団とは「第九」(99 村川千秋指揮/'04 出演時は工藤俊幸指揮) ソロに始まり、「00 スノーファンタジーコンサート(高橋誠也指揮)」「03 たなばたコンサート(工藤俊幸指揮)」「04 山形の演奏家シリーズ(工藤俊幸指揮)」「07 ふるさとの演奏家(佐藤寿一指揮)」「09 戴冠ミサ(アマテウスへの旅)(飯森範親指揮)」「10 アマテウスへの旅 新庄演奏会(飯森範親指揮)」と度々共演。

6月29日に、かつしかシンフォニーヒルズ(東京都)にて、被災地での音楽活動の支援を目的とする、実力派声楽家たちによる「チャリティーガラコンサート」に出演予定。

二期会会員、日本声楽家協会会員、東京芸術大学同声会会員、東京音楽大学非常勤オペラ研究員(08年～)

<http://www.masatoinoue.com/>



碓井俊樹
Toshiki Usui

東京芸術大学付属音楽高等学校を経て同大学卒業。

ザルツブルク・モーツァルトウム芸術大学にて引き続き研鑽を積むカントウ国際コンクール優勝、ヴィオッティ国際コンクール特別賞、オランダ・ミュージック・セッションにてドネム

ス演奏賞など数多くの賞を受賞する。

世界各国での演奏会を始め国際音楽祭の出演や、国際音楽コンクールの審査員などを務める他、多方面で精力的な活動を展開する。

2010年はニューヨーク・ウィーン・ドイツ・アルジェリアなどで演奏している。

現在、東京とウィーンに在住。



ヤンネ館野
Janne Tateno

1975年フィンランド・ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院でオルガ・バルハメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子氏に師。1998年から2007年まで毎年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)

に出演。2005年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティストとして招聘されて以来毎年出演。2008年より毎年セヴラック音楽祭(フランス)、森と水、月光の調べフェスティバル(鶴岡市)に出演。現在ヘルシンキを拠点とする、ラ・テンペスタ室内管弦楽団のコンサートマスター、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子氏主宰の長岡京室内アンサンブル、ユーシア・クアルテット、Tangueros Polares、Tangueros Árticosでの出演、また東北、東京、関西を中心に日本各地での室内楽、ソロ演奏など、フィンランド、日本、二つの祖国において幅広い活動を展開。2007年オウルンサロ音楽祭(音楽監督・館野泉)の日本版をプロデュース。以来全体を見渡せる広い視野と感覚を活かしプロデューサーとしても活躍している。